

令和6年度小松市立第一小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	積極的な生徒指導による主体性の育成 ・生徒指導の4つの視点（自己決定・自己存在感・共感的な人間関係・安全・安心な風土の醸成）を生かした学年・学級経営や授業づくりに努める。 ・児童が主体的に企画運営した取組を昨年度よりも増やす。 ・全教職員が、子どもに寄り添い温かい声かけをする。		
特別支援教育	一人一人のよさを認め、引き出すための特別支援教育の充実 ・支援や配慮が必要な児童について担任やコーディネーターを中心に適切に実態把握し、その子に応じた支援の実現を目指す。 ・生徒指導と協力し、児童理解を深め、児童理解の会にて適切な支援について全職員で共有し、組織的な校内支援体制を強化する。（年間計画に沿って適切に会を運営していく）		
保健健康教育	望ましい生活習慣の確立 ・発育測定時に、学年に応じた保健指導を行う。 ・児童が自らの生活習慣を見直すことができるよう、長期休みを利用して健康チェックを行う。 ・メディアと適切な関わり方ができるような判断力を養い、望ましい生活習慣につなげるため、学年に応じた指導の機会を設ける。		
道徳・人権教育	心を育む道徳教育 ・道徳教育及び道徳科の指導方法や評価の在り方についての道徳通信を必要に応じて発行する。 ・外部講師を招聘するなど、校内研修を開催し、道徳の授業改善をめざす。		
体力向上	体力・運動能力の向上 1校1プランの取り組みを推進し、体力・運動能力の向上を図る。 ・多くの児童に「できた！」という経験を積ませ、仲間と共に運動に取り組む楽しさを味わわせる。 ・体力テストの結果に基づき、弱点を補強するための運動を授業に取り入れ、体力の向上を目指す。		
情報教育	GIGAスクール構想の充実 ・より日常的にICTが使用できるよう環境の充実を図り、日々学習用端末を活用した授業に取り組む。 ・校内研修の機会を定期的に設定し、教職員の情報活用指導能力の向上を図る。		
家庭と地域社会の連携	社会に開かれた教育課程の実現 ・地域人材とのつながりを広げ、地域のよさに着目したカリキュラム作りを行う。 ・生活科や総合的な学習の時間、特別活動において、探究的な学習を意識し、学びの充実を図る。		
人材育成	効果的な人材育成のための場の設定と工夫 ・各ステージに応じたタイムリーな研修、および学校課題に応じた研修のあり方の工夫を行う。 ・学年部会や分掌部会を充実させ、日常的にメンター制が行われるようにする。		

学校関係者評価	
---------	--